

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

情報技術で新しい仕組みや価値を創造し、豊かで幸せな社会の実現に貢献する

売上高

50,000百万円

営業利益

3,500百万円

EBITDA

6,500百万円

ROE

13.0%

② 中長期の経営戦略

1. プラットフォーム戦略強化

データセンター基盤のプラットフォーム上でサービスと戦略的協業パートナーを拡大し、市場参入とビジネスチャンス創出を実現

3. システム開発強化

高スキル人材確保・育成、自社サービス開発販売強化、ビジネスパートナー連携強化

2. 情報処理サービス展開

データセンター・クラウド、受託計算、プリント・メーリング・BPOで市場シェア拡大とクロスセル推進

4. グリーンDC推進

2030年度に再生可能エネルギー50%、2040年度カーボンニュートラル達成。第3データセンター新設

③ 対処すべき課題

① コスト増加への対応

- ・エネルギー・ライセンス価格上昇への対応力強化
- ・原価・コスト増加に対する競争力維持

② 成長投資と財務バランス

- ・高成長維持に必要な設備投資余力確保
- ・第3データセンター新設への対応

③ 人材確保・育成

- ・システム開発人材の確保と育成
- ・障がい者雇用比率3.2%達成（2028年3月末目標）

面接で使えるポイント

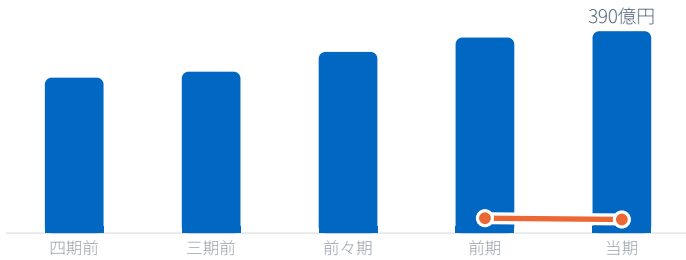
- ・DX時代に情報処理インフラを強化しながら2028年3月期に売上高50,000百万円を目指す持続的成長戦略
- ・データセンター基盤のプラットフォーム戦略で金融・流通・エネルギー・宇宙など広範な市場に参入し競争力強化
- ・2040年カーボンニュートラル達成と女性管理職18.0%目標で社会への貢献と人材多様性を推進する経営方針

株式会社アイネット

情報・通信業 | 非上場（有報提出会社） | 決算期 3月31日…

EDINETコード E04919

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社（株式会社アイネット）、子会社4社及び関連会社2社より構成されており

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
390億円

営業利益率
6.8%

財務健康度
47点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
649万円

平均年齢
40.2歳

平均勤続
16.4年

女性管理職
10.4%

男性育休
86.7%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

株式会社アイネット 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

